

ボランチ♥通信 1 月号

2018年1月31日発行

体育会サッカー部 宮城県南三陸町でのボランティア活動

1月12日(金)～14日(日)の3日間、体育会サッカー部の有志30名が、宮城県南三陸町でボランティア活動を行いました。部員のみなさんは班に分かれて活動し、サッカーを通じた交流以外でも地元の市イベントのお手伝いや遺構見学など、被災地を実際に訪れて学習も行いました。



(上2枚) 町立伊里前小学校にて。小学生とのサッカー交流を行った後、審判や会場設営などの運営のお手伝い。



(上3枚) 地元イベントの設営準備・販売のお手伝い。



(左上) 南三陸町唯一の高校「志津川高校サッカー部」と近隣気仙沼市の「本吉響高校サッカー部」との交流。



(右上・右下) 南三陸町内の慰霊碑、石巻市立大川小学校等の遺構見学。



(上) 活動の様子は地元新聞『三陸日報』にも取り上げられました。

サッカー部公式HPでも企画課課長 高橋くんによる詳細な活動報告が掲載されているので、ぜひご覧ください！
→<http://sophia-soccer.com/2017/volunteer/>

「みちくさルーム」

岩手県陸前高田市のNPO法人P@CT(パクト。東日本大震災を受け設立された「陸前高田市災害ボランティアセンター」を基とする、地元発のNPO法人)では、震災によって居場所を失った子どもたちが気軽に集える憩いの場、『みちくさルーム』を開設し、月に2～4回のペースで学生ボランティアが企画した遊びや、子どもたちのやりたい遊びをしたり、自習のサポートを行なっています。

課外活動団体Sophia Volunteer Net(SVN)の有志メンバーは、ボランティア・ビューローの復興支援ボランティア交通費補助制度を利用して、継続的にみちくさルームでのボランティア活動への参加をしています。

新春早々の1月6日(土)～7日(日)には、秋にSVNを引退をした3年生のメンバー6名が、メンバーで「ただ楽しく遊ぶだけでなく子どもたちの学びとなるように」と考えたアクティビティとして、凧作りや餅つき、都道府県を模したかるたや福笑いなどのお正月の遊びで子どもたちと交流しました。



お知らせ

卒業を目前に控えた先輩の多岐にわたるボランティア活動のお話を聞く機会を作りました。在学中にボランティア活動に積極的に取り組み、3月に卒業する学生有志のみなさんに、ボランティア活動を通して成長したこと(「復興支援ボランティア」、「福島県飯館村での交流」、「地域の子ども支援」、「赤十字海外ボランティア」、「青年海外協力隊での活動」など)、在学生のみなさんへ残しておきたいメッセージなどを発表してもらいます。

後輩に贈るボランティア報告会
～卒業する私達からリレーメッセージ～

○日時：
2018年3月22日(木) 13:00～15:00
(途中入場退室可)

○場所：
11号館1階 学生相互支援室(SSIC)

参加人数把握のための
可能な限り、
事前の申込みを
お願いいたします。

発表後は、お茶会も予定しています。ボランティアに興味のある方、学生時代に何か始めたいと迷っている方など、ヒントを得ることができるかもしれません。

皆様ぜひお誘いあわせの上、お気軽にご参加ください！

お申込：volunteer@cl.sophia.ac.jp までメール
(学籍番号、氏名をご記載ください)

ボランティア・ビューローでは東北・九州復興支援活動について交通費の補助を行なっています。制度の詳細は右記のQRコードまたは<http://bit.ly/2BJg2Hc>からご確認いただけます。ご興味のある人はぜひ、ご覧ください！

上智大学ボランティア・ビューロー 2号館 1F 学生センター⑧窓口
Tel: 03-3238-3525 Mail: volunteer@cl.sophia.ac.jp Twitter: @SophiaVolante

